

S

土壌散布資材



Rooted in Science

ディフェンス・カズン

- ◆ ディフェンス・カズンは、銅と亜鉛(Cu & Zn)の補給用サプリメント資材です。
- ◆ 植物は根から根酸等の浸出液を排出し、栄養素を可給態に変えて吸収します。
- ◆ フロラティン独自の技術で植物の根酸のような働きをする有機酸でキレート処理された銅と亜鉛は、施肥後、速やかに植物に吸収され、葉緑素活性を改善します。
- ◆ アナリンク分析では、60%の検体において可給態「銅」が欠乏し、又 80%の検体で可給態「亜鉛」が欠乏していることが分かっています。

ディフェンス・カズンの効果

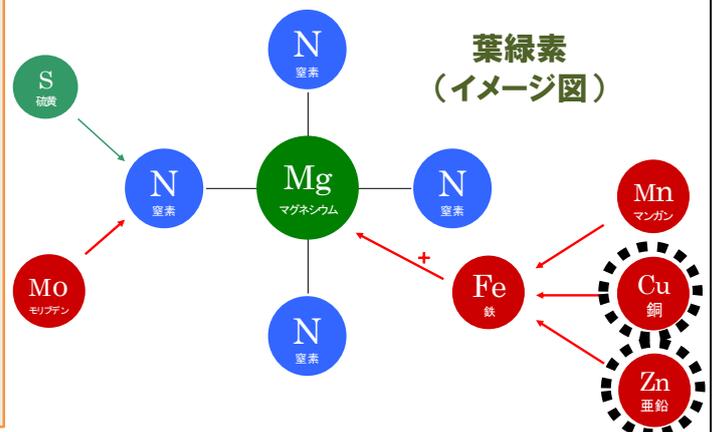
- 葉緑素の活性改善
- 光合成量増進
- SOD 生成促進でストレス耐性向上
- 酵素活性をサポート
- 耐病性の確保

葉緑素の核はマグネシウムを中心に 4 つの窒素を持っています。

マグネシウムの活性を上げる鉄を補佐するのが、銅、亜鉛、マンガンです。

葉緑素活性を上げるためには、鉄だけではなく、銅、亜鉛などの微量元素をバランス良く供給する必要があります。

ディフェンス・マグ、ディフェンス・マンとの混合散布は、非常に大きい相乗効果があります。



ディフェンス・カズン

ディフェンス・カズンは SOD(スーパーオキシド・デスマターゼ)生成を促進し、ストレス耐性も強化します。SOD は、銅イオンや亜鉛イオンの 2 価の金属イオンや、他の 3 価の金属イオンを持った酵素で、細胞質やミトコンドリアに多く局在している酸化ストレスを減少させる役割を持っています。

成分表

銅 (Cu)	7.00%
亜鉛 (Zn)	23.00%
規格	0.50 kg × 4
性状	粉末(水和剤)

ディフェンス・カズンに含まれる成分の役割

銅

光合成反応における過程で二酸化炭素から糖が生成されるとき、又、呼吸反応において NADH 還元の際に陽子が移動するが、このときに銅が必要とされます。

葉緑体、ミトコンドリア等の中のフリーラジカルを解毒する作用も知られています。

リグニン組成に必要な基質を作る酵素には、銅が必要とされます。

亜鉛

酵素の蛋白構造を安定化させるために非常に重要な栄養素。

ホルモンバランス、特にオーキシンのレベルを維持するためにも重要な役割を持っています。

pH が高い土壌では、可給態亜鉛の欠乏が顕著となり、又、サンドグリーンにおいては、可給態亜鉛の流亡が起きやすいと言われています。

発根・根の伸長のためには亜鉛が重要です。

プロ使用ガイドライン

推奨施用量 : 0.10g / m² (定期施用)

※Cu、Zn の欠乏が顕著な場合は散布間隔を短くして散布してください。

散布間隔 : 4~6 週間 (※効果の持続期間は土壌環境などによって異なります)

推奨散布水量: 80ml / m²以上 (※散布後すぐに軽く後散水をしてください)

投入順序 : ②

※ 一缶に 0.50kg の水溶性のパウダーが入っています。タンクミックスする前に、缶の 3/4 まで水を入れ、蓋をしてから缶を振って、十分に攪拌して下さい。

使用上、保管上の注意:

- フロラティン社資材との混合手順は別紙「タンクミックスの手順」をご参照ください。
- 他資材との混合使用は、必ず事前に混和性、効果をテストで確認してから行ってください。
- タンクミックス時は必ずよく攪拌し、散布作業中も攪拌を続けてください。
- 希釈した溶液はその日のうちに使い切ってください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 一度開封した製品を保管する際は密閉し、高温多湿を避け、できるだけ早く使い切ってください。

Ver. 2016.01.18



Rooted in Science

フロラティン・ジャパン株式会社

〒104-0042 東京都中央区入船 2-10-7-4F

TEL: 03-3523-4882 FAX: 03-3523-4883

取扱代理店